
もうひとつの世界†Last My Beats

神狼滅牙 天魔封滅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もうひとつの世界†Last My Beats

【Nコード】

N3778V

【作者名】

神狼滅牙 天魔封滅

【あらすじ】

†あらすじ†

ハルヒが団長を務めるSOS団の団員、キヨンはある夏の日の夜、気がつくとも見覚えのない 学園の校庭にいた。

場所の特定を急ぐべく走り周り、銃を構えた少女と出会う。

その少女から『この世界は死後の世界』と告げられ、ひょんなことから彼女がリーダーを務める「死んだ世界戦線」に入隊する……

神に立ち向かう為、自分の人生を受け入れられない者達

「私は……本当に神がいるのなら、立ち向かいたいだけよ……」

天使との抗争の毎日、壮大なAngel Beatsの世界のもう一つの時が動き出す……

創造する世界

季節は夏、夏休みまで3日を切ろうとしていたある日……

放課後、俺はいつものようにSOS団の部室へと向かった。

ドアを開け、部室に入る。

室内には朝比奈さん古泉、長門の三人がいた。

「ようやく来ましたか？」

古泉はオセロの準備をして、俺を待っていたらしい。

「遅いようなので心配していましたよ」

「お前に心配されると不安になるのは何故だろうな…」

椅子に座り、古泉とオセロを始めると、間もなく朝比奈さんがお茶を持ってきた。

「どうぞ」

「あ、ありがとうございます？」

「今日は涼宮さん、遅いですね」

「俺としては居ない方が嬉しい ですけどね？」

朝比奈さんとそんな会話をしていると、勢いよくドアが開いた

「待たせたわね？」

待ってねえよ？

SOS団団長、涼宮ハルヒの登場である。

ハルヒはいつもの団長席に座り朝比奈さんからお茶を受け取りそれを一気に飲み干してから再び立ち上がった

「皆？今日は重要な会議の日

だからね？？」

あたしより遅れて来た奴は……コンピ研に宣戦布告とか、いろいろとしてもらおうと思っていたところよ？」

今日が会議の日だということを聞いていないのは

言うまでもない。

「今日の議題は「異世界について」よ？」

「異世界とは具体的にどのような世界を指すのでしょうか？」

古泉が手を挙げ、ハルヒに疑問をぶつける

「ここじゃない世界……そうね、ゲームとか死後の世界とか？」

「ゲームの世界は難しそうですけど…死後の世界なら何となく想像はつきますね？」

今度は朝比奈さんの発言だ

「天国は豊かな暮らしができて、地獄は天国の逆？……」

「俺のイメージでは天国には神や仏様で地獄には悪魔や鬼って感じですかね？」

俺と朝比奈さんの意見を聞いて、ハルヒがなにやら思い付いたようだ？

「もしかしたら、天国と地獄は 一緒になっていて、常に対立戦争が？……」

「ねえよ？」

話しの途中にツツコミを入れ止める

それから、そんなこんなで2時間が過ぎ、下校時刻となった俺は、何も考えず家へと

自転車をこいだ………

……そこからの記憶は……

…無い

目の前が真っ暗になって……

少しではあるが、体中が痛い………

何が起こったんだ？………

何もわからない………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3778v/>

もうひとつの世界†Last My Beats

2011年10月9日13時30分発行